

医師人生とキャリアについて

名古屋大学医学部附属病院
医療の質・安全管理部 安田 あゆ子

略歴

- 1996.3. 名古屋大学医学部卒業
- 1996.5. 小牧市民病院にてスーパーローテート研修
- 1998.4. 小牧市民病院胸部外科勤務
- 2000.4. 名古屋大学大学院呼吸器外科学入学
- 2001.9. 休学、渡米
- 2003.6. ブリガムアンドウィミンスズ病院にて
リサーチフェロー
- 2005.4. 名古屋大学病院呼吸器外科医員
- 2006.1. 博士号取得
- 2006.4. 厚生労働省東海北陸厚生局勤務、
国立病院機構名古屋医療センター併任
- 2011.7. 名古屋大学病院 医療の質・安全管理部

臨床

主婦

研究

臨床

行政/教育

管理

結婚

子供

子供

子供

略歴図



私のキャリアの分岐点

- 楽しそうに働く上司
- 突然婚活して結婚した親友
- アメリカ同時多発テロ事件
- 医師だけでない職場経験（行政、管理業務）

女性医師としてよかったこと

- 周囲は差別も特別扱いもしなかった
- 行政や管理業務など様々な経験ができた
- 保育園、学童、ママ友、仕事上の付き合いなど、ロールモデルが増えた



とある臨床研修病院にて、女だけの手術室

医師の人生で考慮すべき8つの要因

キャリア

専門性

医学研究

指導・教育

人間力・
マネジメント

ライフ

パートナー

子供

経済面

健康

明日の医療の質向上をリードする医師養成

～医療基盤を支える管理者医師養成と人財ハブセンター形成～

課題

- 実効性のある患者安全・医療の質向上には
- ◆臨床を熟知し課題解決能力に長けた中堅医師の参画
- ◆質管理の視点やスキルを持つ医師の育成が不可欠

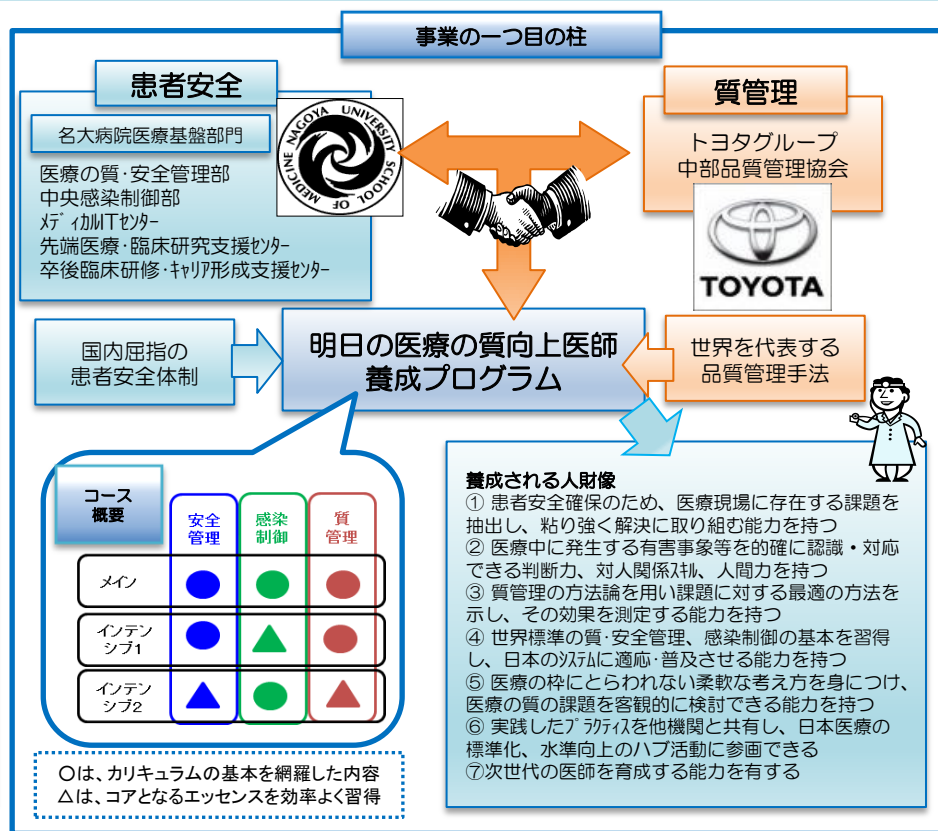
患者安全・医療の質向上の専門性を持つ管理者医師が存在しない

上記における専門性やキャリアパスが不明確

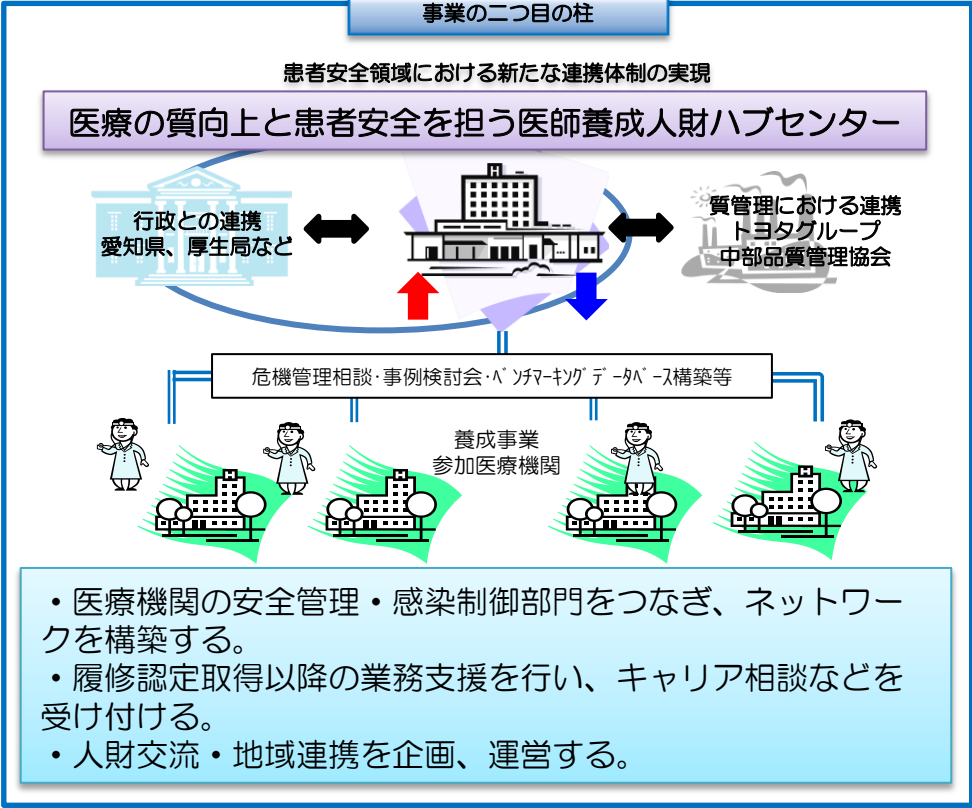
対応

- 「医療の質向上をリードする医師養成」事業を立ち上げる
- ◆医師を対象とした「患者安全」と「質管理」の同時習得
- ◆国内屈指の患者安全体制を有する名古屋大学病院における実習
- ◆トヨタグループで世界最高水準の品質管理手法の教育
- ◆医療の質、患者安全における人財ハブセンターの形成
- ◆現場の医師が効率よく第2の専門性を修得できるカリキュラム

医師養成事業



事業の二つ目の柱



医療機関をつなぐ人財ハブ事業

彩り豊かな人生のために

- 社会に出てからの学びは人からが中心
- 人生の選択で迷ったら、経験値が増えると思う選択をする